

宮城県感染症発生動向調査情報

平成28年9月23日発行

— 2016.9.12～2016.9.18—第37週—

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第34週	第35週	第36週	第37週
水痘		1 0.10	8 1.60		4 1.33	3 0.60	1 0.50	4 0.15	21 0.36	1,086				
流行性耳下腺炎	1 0.20	2 0.20	1 0.20				1 0.50	4 0.15	9 0.15	816				
百日咳									1 0.02					
感染性胃腸炎	23 4.60	19 1.90	11 2.20	10 5.00	10 3.33	3 0.60		55 2.04	131 2.22	12,037	◎	◎	◎	◎
手足口病	23 4.60	53 5.30	8 1.60		2 0.67	7 1.40	5 2.50	84 3.11	182 3.08	1312	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑					1 0.33				1 0.02	310				
突発性発しん	2 0.40	5 0.50	7 1.40	1 0.50	3 1.00	4 0.80	1 0.50	21 0.78	44 0.75	1,218	○	○	○	○
ヘルパンギーナ	30 6.00	35 3.50	39 7.80	27 13.50	17 5.67	49 9.80	12 6.00	111 4.11	320 5.42	3,045	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ	1 0.13					1 0.13		1 0.02	3 0.03	28,061				
咽頭結膜熱		1 0.10						1 0.04	2 0.03	666				
流行性角結膜炎			1 1.00						1 0.08	89				
急性出血性結膜炎									0 0.00					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20 4.00	14 1.40	3 0.60		1 0.33	33 6.60		23 0.85	94 1.59	7,496	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00					
無菌性髄膜炎									0 0.00					
マイコプラズマ肺炎	3 3.00		4 4.00	1 1.00		1 1.00		5 1.00	14 1.17	283				
クラミア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00					
RSウイルス感染症	15 3.00	11 1.10	5 1.00		1 0.33	2 0.40		96 3.56	130 2.20	691	○	○	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									1 0.08	14				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	22	5	10		3	1		27		◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	川崎病													
	不明発疹症		2						10					

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

石巻管内 男児1名※
塩釜管内 男性1名(第36週)
気仙沼管内 男性1名(第36週)
仙南管内 男性1名、女性1名
登米管内 男性1名、女性1名
仙台管内 男性1名(第36週)、男性2名、女性2名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

塩釜管内 女性1名
仙台管内 女性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O26)
仙台管内 男児1名※
腸管出血性大腸菌感染症(O不明)
大崎管内 女性1名

4類感染症: レジオネラ症

仙南管内 男性1名

5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症

大崎管内 男性1名
梅毒
塩釜管内 女性1名
カルバペネム耐性腸内細菌感染症(*E.cloacae*)
仙台管内 女性1名

※男児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[ヘルパンギーナ]

塩釜・大崎・栗原・登米・石巻・気仙沼・仙台管内で警報継続中
仙南管内で警報値を超えた

[手足口病]

仙南・気仙沼管内で警報継続中
塩釜管内で警報値を超えた

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

石巻管内で警報継続中

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

病原体の検出なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	中間報告		
	確定 第34週採取分 (8.22～8.28)	第35週採取分 (8.29～9.4)	第36週採取分 (9.5～9.11)
RSウイルス	3件	1件	3件
アデノウイルス	1件	0件	0件
エンテロウイルス	1件	3件	1件
サイトメガロウイルス	1件	1件	1件
パラインフルエンザウイルス1型	0件	1件	3件
パラインフルエンザウイルス3型	0件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス4型	0件	1件	1件

※第32週よりRSウイルスが継続的に、第35週からパラインフルエンザウイルスが分離されています。

4. 今週のコメント

【後天性免疫不全症候群】

後天性免疫不全症候群はHIV感染により引き起こされる感染症です。近年における全国の新規HIV感染者の報告数は毎年約1000例あり、20代～30代の報告数が多くなっており、また性的接触による感染が約8割を占めています。HIV感染は予防可能な感染症です。適切な予防策をとり、感染予防に努めてください。

【HIV感染者・AIDS患者累積報告数】

	HIV感染者	AIDS患者
宮城県	125(1)	90(2)
全国	18,337(239)	8270(112)

()内は平成28年3月28日から平成28年6月26日までの報告数
API-Net(エイズ情報予防ネットより)

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228

FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans/hokans-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

